



Sumitomo Corporation

日米の若いリーダーシップの育成を目指す「TOMODACHI イニシアチブ」教育プログラム

～日米関係の促進に興味を持つ米国への交換留学生(大学学部生)対象～

2016 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

第3期生募集

東日本大震災後の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンと東京の米国大使館が主導する官民パートナーシップ「TOMODACHI イニシアチブ」に住友商事株式会社は 2013 年に参画し、一億円の寄付を行い本プログラムをスタートさせました。本プログラム対象大学の学生としてアメリカの大学へ交換留学をする学部生に対して、渡航費および留学中の生活費を支援するため、1 名につき年間 150 万円の奨学金を支給します。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や TOMODACHI Alumni Leadership Program を通して、日米間に関わる様々な人々と交流します。



■ TOMODACHI イニシアチブとは

Mission

TOMODACHI イニシアチブとは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す官民パートナーシップです。

Vision

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協動的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

History

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本は TOMODACHI イニシアチブを開始しました。TOMODACHI は公益財団法人 **米日カウンシル**（U.S. 501(c)(3) 公益財団法人米日カウンシル-ジャパン）と在日米国大使館が主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

Program

現在、**教育、文化交流、リーダーシップ**を3つの柱として、年間約50本のプログラムを実施しています。また、**TOMODACHI Alumni Leadership Program**を通してプログラムの壁を越えて参加者同士が交流を持てるような様々な機会を設け、日本とアメリカの若者たちにインスピレーションを与え、TOMODACHI での経験をさらに一歩進めるサポートも行っています。

■ TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

「TOMODACHI イニシアチブ」の一環として実施される本プログラムは、住友商事株式会社による1億円の寄付により、アメリカの大学への交換留学をする日本の対象大学の学部生を支援するプログラムとして実施しています。参加者には渡航費および留学中の生活費を支援するため、1名につき年間150万円の奨学金が支給されます。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や TOMODACHI Alumni Leadership Program 通して、日米間に関わる様々な人々と交流し、日米関係の促進やグローバル社会に貢献できるグローバルリーダーになることを目指します。

住友商事株式会社

住友商事は、グローバルに活動している総合商社です。全世界に展開するネットワークとさまざまな産業分野における企業・消費者との信頼関係をベースに、多様な商品・サービスの国内販売、輸出入および三国間取引、国内外における事業投資など、総合力を生かした多角的な事業活動を展開しています。また、住友商事では、次世代人材の育成支援を社会貢献活動の重点分野と位置付け、アジア発展途上国における「住友商事奨学金」による学業支援や、東日本大震災の復興支援に携わる若者を支援する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」などを実施してきました。「TOMODACHI イニシアチブ」を通じて、将来、米日の懸け橋となってグローバルに活躍する多くのリーダーが誕生することを期待し、支援していきます。

The Study Abroad Foundation (SAF)

SAF は、アジアの大学生の留学を促進することにより、自国および国際社会へ貢献できるグローバル人材を育成することをミッションとしている米国インディアナ州の認可非営利教育財団です。日本、中国、台湾、韓国、ブルネイ、カザフスタンを中心としたアジアの大学生を欧米のトップレベルの大学へ派遣しています。提供している留学プログラムは、学部授業履修、語学力強化、アカデミック・インターンシップなど多岐にわたり、学生の多くは在籍大学の認定・私費留学制度に基づき留学を実現しています。SAF は TOMODACHI イニシアチブの趣旨に賛同し、プログラム実施パートナーとして TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムの運営を担当します。



2016 年度プログラム (※2017 年度も継続予定)

対象者

東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学の交換留学生としてアメリカに留学する学部生

(申請要件の詳細は別紙の「2016 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金 募集要項(学生向け)」を参照のこと)

プログラム構成



2015 年 3 月現在、TOMODACHI イニシアチブは年間約 50 のプログラムを実施しており、これまでの参加者は日米合わせて約 4,000 名になります。TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムを含む TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者 (TOMODACHI アラムナイ)は、TOMODACHI Alumni Leadership Program を通じて多くの日米の若者と交流を持ち続けながら、日米そして世界のリーダーとして活躍するために必要なスキルを磨くことができます。

第1期生からのメッセージ

(ニューヨークでの米州住友商事による研修に参加して)



平河 佑佳子さん

慶應義塾大学
法学部政治学科
ウィスコンシン大学
マディソン校へ留学

研修期間中に学んだ最も大きなことは、日米関係に貢献している人々の**パッション(気持ち)**の強さです。**米州住友商事**社長の**竹内一弘氏**と副社長兼 CFO の**南部智一氏**は研修のはじめにお会いした際、グローバルリーダーになるためには常に前進する**パッション**が重要であることを教えてくださいました。公的機関で働かれている方々との面談の中で、**パッション**について最も印象に残っているのは、**米国の連邦議会議員**である**コマキ J フォスター氏**です。日系アメリカ人で、かつ女性であるという理由で困難に直面することがあっても、様々なバックグラウンドの人々の話を聞き、米国の政治を良くする努力を粘り強く続けられているフォスター氏からは大きなエナジーを感じました。また、**日本における女性の社会的地位の向上**や日本社会での活躍についてアドバイスを求めたところ、この問題の解決が経済全体により影響を与えるということを社会に伝え、その議論に男性を巻き込んでいくことが重要であることを教えてくださいました。私は日本と米国を含む外国の懸け橋になることを目標にしてきましたが、その目標は公的機関で働くことでは達成できないと思っていました。しかしながら研修を通して様々な人々と話し、その考えは変わりました。企業と公的機関では活動の国際性は異なっても、目の前のタスクや課題に真剣に取り組むことで、国際社会に貢献していくことが出来るのだということを学びました。



米国の連邦議会議員室にて議員の
コマキ J フォスター氏(中央)と一緒に



田邊 一成さん

慶應義塾大学
経済学部
カーネギー・メロン大学
へ留学

留学中にニューヨークで実施された研修を通して、自分自身が興味を持っている**ビジネス**や**経済**の分野で活躍されている様々な人に出会い、それぞれの考え方や仕事内容について学ぶことができました。TPP の交渉に携わる**在米日本大使館員**や**米国政府関係者**との面談では、改めて 2 国間の交渉の難しさを理解することができたのと同じく、公的機関で働くことを具体的にイメージする助けとなりました。また、**コロンビア大学のヒュー・バトリック教授**との面談も非常に有意義でした。**日本経済経営研究所のディレクター**であるヒュー先生は日本経済に精通しているだけでなく、日本経済に関して、経済学の観点からだけでなく、より幅広い学際的な観点からも議論されていた点に感銘を受けました。米国と日本どちらにも深く関わってきた**米州住友商事**の**役員**や**日本大使館員**の皆様より、**日米の労働流動性の違い**について話をきくことが出来た点でも、将来の自分自身のキャリアについて考える良いきっかけとなりました。また、日米の違いがそれぞれの経済や社会にどのように影響を与えているのかについて勉強してみたいと考えるようになりました。



コロンビア大学にてバトリック教授と一緒に



小北 采佳さん

東北大学文学部
人文社会学科
ハワイ大学マノア校
へ留学

研修を通して、様々なフィールドで働く、とても興味深い人々に会い、彼らの仕事、キャリア形成、そして**パッション**を知ることが出来たことは、私にとって非常にすばらしい経験でした。研修に参加する前は、企業で働くことに対するイメージを持つことが出来ず、また特に**ビジネス**や**経済**分野に興味はなく、勉強する必要性を感じていませんでした。しかしながら、研修中にこの分野に関わる様々な人に出会ったことにより、社会における問題を多面的に分析し、自分自身の意見を述べるようになるためにも、**ビジネス**や**経済**に関する知識を高めていかなければならないと考えるようになりました。**ハワイの日系人の経験や歴史**を研究している私にとっては、日系アメリカ人の方々より直接、個人的なストーリーを伺うことが出来たことも貴重な体験でした。特に、ワシントン DC で**米日カウンシル**会長である**アイリーン・ヒラノ・イノウエ氏**にお会いできたときは感動しました。また、私が研修中に滞在させてもらった**ホームステイのご家族**が、日系人の友人について話してくれました。彼女によると、**米国における日系人コミュニティ**の結束はまだまだ固く、日系アメリカ人と日本人の懸け橋になりたいと望んでいることを知りました。ニューヨークでの研修は、研修後に続く**ハワイ**での勉強へのモチベーションとなりました。新しい物事の見方を手に入れるきっかけを提供し、また日系アメリカ人に関する私の興味を追及させてくれた**TOMODACHI** および**住友商事**の皆様へ感謝しています。



米日カウンシル本部にて
アイリーン・ヒラノ・イノウエ会長(中央)と一緒に

TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムに関する お問い合わせ先

SAF 日本事務局 / TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム担当
Tel: 03-5321-6222 Email: tomodachi@studyabroadfoundation.org
URL: <http://japan.studyabroadfoundation.org>

お問い合わせの際には、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨をお知らせください。

TOMODACHI住友商事奨学金プログラム 参加学生の活躍はこちら

TOMODACHI 住友商事

米日カウンシル-ジャパンについて >>
<http://usjapantomodachi.org/ja/>

住友商事について >>
<http://www.sumitocorp.co.jp/>

2016 年度の申請要件等の詳細については別紙の募集要項にてご確認ください。また、申請書類の入手方法および申請締切日に関する情報は、在籍大学の国際交流・留学を担当している部署より入手してください。